

平成22年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったか具体的に、記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域の皆様に、ご利用いただく施設として、安心して、安全にご利用いただけるよう空調設備、消防設備、エレベーター等の点検を定期的に行いました。また、気持ちよく、ご利用していただけるよう清掃等を十分に行い、衛生面や備品の管理も徹底して行いました。職員も日常的にこまめに点検を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

法人本部と連携し、業務の役割分担を図りながら、事務の効率化、適正な管理に努めました。車のレンタル業者選定にあたっては法人本部での電子入札を活用し、経費削減を図りました。

なお、法人において、複数の地域ケアプラザの管理運営を行っているメリットを生かし、各ケアプラザと情報を共有することにより、より一層の運営の効率化、経費の節減を図り、効果をあげました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応します。

また、法人では公正・中立の立場からあっせん、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組み、また、毎月サービス向上委員会を開催して苦情の分析を行い、その取り組みの結果は毎月の会議において、職員に周知し、お客様の苦情やご意見から多くを学び、お気持ちに添ったサービスが提供できるように役立ててまいりました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定し、年2回の防災訓練を通して、緊急時に地域ケアプラザ職員がマニュアルに則った適切で迅速な対応がとれるよう体制を整えており、実際に東日本大地震の際は役立ちました。

特に、防災訓練のうち1回は、複合施設であるため、戸部ハマノ愛生園と合同で実施しました。また、災害時に備え、応急備蓄品を貯蔵、定期的に点検を行いました。

オ 事故防止への取組について

通所介護等のサービス提供では、毎朝のミーティングや月1回のスタッフ会議やドライバー会議において、お客様の状況・情報を共有し、また、他のケアプラザの事故報告からも学び、事故の防止に努めました。また、リスクマネジメントについて研修を実施し、職員同士で学びあい、実践面で役立つようにいたしました。

ケアプラザ内においては、設備点検・清掃・備品の定期点検、管理を徹底し、ご利用いただく方の安全に努めました。特に、エレベーター・ガス器具の管理は専門業者に委託し念入りに行いました。不具合には早急に対応しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、また、法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修に職員を受講させ啓発に努めるとともに、全職員に向け事例を挙げて所内研修を実施しました。

実際の個人情報の取り扱いでは、契約書・記録等の書類やフロッピーディスク等については、施錠可能な保管庫で保管をすることとし、また、パソコン等のデータ管理については、システムセキュリティやパスワード使用等を徹底しました。

書類等を携帯しての外出が必要な場合には、最小限の情報のみを個人が特定できないように工夫をして携帯、ひたくり等の事故防止に努めて外出するように徹底いたしました。

特に、社会的に個人情報漏えいが多発している状況への防止対策として、下記の工夫を常時行いました。

- ① F A Xの誤送信防止のため、送信時は2人対応とし、F A X番号を指差し確認の上、送信しました。
- ② デイサービスのお客様記録書については、デイスタッフ・看護職員・生活相談員で3段階チェックをしてお返しし、常に緊張感をもって取り扱いました。
- ③ 手渡しするものや郵送物は、日付・場所・対応者がわかるようにダブルチェックをしました。

貴重な個人情報を取り扱っていることを常に認識し、管理の徹底に努めましたが、残念なことにデイサービスのお客様記録書の誤送付が1件ありました。再発防止に向けて、対策をたて徹底いたしました。

キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示請求のあった場合には適切に対応できるように整備しておりますが、開示請求はありませんでした。

また、法人本部・ケアプラザ共に、ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供いたしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

日常的にゴミの削減、分別の徹底・コピー用紙の裏面使用等、ゴミを出さないようにしてまいりました。また、ケアプラザまつりの際には、地域の環境衛生係の方の協力を得て、広く市民に向けゴミの削減をアピールし、また、子供向けに楽しく紙芝居でゴミ削減を広報しました。日頃から公共の施設として市民の範となるべく節電・節水を心がけ、エアコンの適切な設定温度にも気を配ってまいりました。また、チラシ等でクールビズ・ウォームビズの情報を発信、事業などにおいても折にふれてゴミ削減や環境保護

の話を行いました。

また、植栽については、地域の障害者地域作業所の方の仕事の場として、水まきなどの管理をお願いして、ケアプラザ周りの花木を大切に保護し、住民の方々に楽しんでいただきました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

事業ごとの専門に応じて、一定の資格が必要であるため、それぞれ資格要件及び人員配置基準に従い職員を配置しました。今期、社会福祉士職が産休を取得して休暇に入りましたが、遅滞なく専門職員を配置し、引き継ぎ等を適正に実施し、地域の皆様にご不便をおかけしないように配慮しました。

また、全職員が担当事業に限らず、地域ケアプラザの職員として、地域住民の多様な問合せに対応できるよう、情報の共有化と知識・技術の向上を目指した研修や会議を実施してまいりました。

イ 職員の研修計画について

専門集団であることを自覚し、サービスの向上と専門性の向上を目指し研修を行いました。

- ① 法人本部・ケアプラザがそれぞれの年間研修計画を立て、職種・階層ごとに計画的、効果的に実施しました。
- ② 外部研修を活用し、職員の自己研鑽を支援いたしました。特に、各専門職が技術や知識を向上できるような研修に派遣いたしました。

ご利用者や地域の皆様に、正しい専門知識と技術をもって対応できるように、会議の場などを活用して介護技術や認知症のミニ研修も随時行ってまいりました。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

第2期 西区地域福祉保健計画・西区社会福祉協議会・西区社協福祉プラン・各地区社会福祉協議会の事業計画等を理解し、その遂行を支援するために関係機関と連携して取り組んできました。

また、虐待の疑いのある方や多くの問題を抱えるお客様を支援するために、行政や地域の関係者の方々と連携し、協働で解決を図りました。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

地域との連携を重視し、地区社会福祉協議会、町内会、各地区民生委員会などとの関係を密にするように心がけ、協働してまいりました。積極的に地域に出向いて、地域の方々の抱える課題などの情報収集を行い、「地域のためのケアプラザ」であることを広く地域の皆様にご理解いただけるように機会あるごとに情報発信を行いました。

自主事業については、ボランティアの会などのさまざまな機会を利用して地域ニーズの把握に努め、子育て支援や異世代交流の事業を実施いたしました。また、介護予防についても体験学習や戸外訓練などの楽しくて参加しやすいメニューを行いました。

自主事業や地域の情報等の発信では、ケアプラザの地域版広報紙・地域包括支援センターの広報紙、各種会議時やおまつり等での配布、ケアプラザ前の掲示板、あるいはホ

ホームページ上で、それぞれの対象者に合った方法で広く地域に発信・配布いたしました。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

区や地域の社会福祉協議会、民生委員・児童委員会などの会議に出席し、ネットワーク構築のための下地となる関係作りに努めました。地域の抱えるさまざまな課題解決に向け、それぞれが役割を発揮できるように、また、役割を超えて連携することによってよりよい解決が導かれるようにネットワーク作りに努めました。また、西区内の他地域ケアプラザと協力しながらより広く大きな視点から地域の課題が解決できるよう連携に努めました。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域ケアプラザは、横浜市からの委託事業（地域包括支援センター・地域活動交流事業）と介護保険事業（居宅介護支援事業・通所介護事業）の2つの機能を有しています。このため、両事業の特性を活かしながら、各制度の限界を各々の事業間で補完し合い、地域の課題に対してより効果的に応えられるように協働作業をしてきました。ケアプラザ内に地域包括支援センターを設置しており、行政との連携がスムーズであるという利点を活かした事業展開に努め、より良い解決を図り、高品質のサービスを提供いたしました。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域包括支援センター事業・地域活動交流事業・居宅介護支援事業・通所介護事業という4事業の連携・職員間の協力が必須であることを各人が深く理解し、職員は「戸部本町地域ケアプラザ」というチームの一員であり、チームとしての関わりができるように努めました。隔週に実施している所内会議の場で、情報を共有し、検討事項を協議し、地域ケアプラザとしての方針を決定して、各職員が共通認識を持ち業務に当たりました。また、事業別の会議も毎月、実施し各サービスの向上に努めました。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

○ 高齢者への対応

高齢者が多い地域ですが、介護保険等のサービス利用が必要であるにもかかわらず、ぎりぎりの状態までサービスを利用されない方がいます。また、介護保険サービスそのものを知らない方も多いのが状況です。

このため、地域の方からの情報等により、地域包括支援センターと連携し、高齢者の方への情報提供や支援に取組みました。また、介護予防についても、地域ケアプラザの事業の中から適したものを紹介し、お誘いして、介護状態となるのを少しでも遅らせられるように支援してまいりました。

○ 乳児・幼児への対応

近年、マンションが増え、乳幼児をもつ若い世帯が増えています。母親の仲間作りや交流、地域における親子の遊び場や居場所作りのための事業を展開し、親子の抱える問題の解決に向けて取り組んでまいりました。

○ 団塊世代への対応

当地域には、団塊の世代も多く居住しており、退職後の居場所作りが課題となっています。退職後の居場所を作ると共に地域の担い手となる人材育成のために、団塊世代を対象にしたボランティア講座・育成のための事業としてそば打ち教室やカメラ講座を継続して支援し、地域の行事やケアプラザの事業等でボランティアとして活躍していただきました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

地域ケアプラザは横浜市の委託を受け、地域の課題に関して包括的に取組んでいく役割を担っています。その役割を効果的かつ有効に機能させていくためには福祉保健活動団体の協力を得ることが必要となります。福祉保健活動団体の機能を強化し、さらに地域へ貢献ができるように、ケアプラザ内の貸室を広く地域の福祉保健団体へ貸し出して有効に活用していただけるように積極的にPRを行い、稼働率の向上に努めた結果、利用希望者が多く、多目的ホールの一部の時間帯では抽選を行い決定しました。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 平成22年6月22日(火) 10:00～11:15

議題

- 第1号議案 平成21年度下期事業報告について
- 第2号議案 平成22年度事業計画について
- 第3号議案 ケアプラザまつりについて

第2回 平成23年1月27日(木) 10:00～11:00

議題

- 第1号議案 上半期の報告

運営協議会は、地域の代表の方々に向けて、地域ケアプラザにおける事業計画・事業報告を行いました。また、よりよい運営ができるように皆様からご意見やご要望をいただき、参考にさせていただきました。

エ ボランティア育成及びコーディネートについて

自主事業や通所介護サービスは、多くのボランティアの方々のご協力を得て実施しております。現在登録中のボランティアの方には、情報ラウンジの開放、ボランティア同士の交流やネットワーク作り、また、いきいきポイント活動への参加により、ボランティア活動への意欲向上へとつなげてまいりました。より多くのボランティアの育成を目指し、自主事業の終了者を活動へとつなげていくとともに、地域版広報紙に「ボランティアさん紹介コーナー」を連載し多くの住民にボランティアのすばらしさをアピールしました。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

当地域ケアプラザの立地として、京浜急行線戸部駅から徒歩2分・相鉄線平沼橋駅から徒歩7分と駅から近いこと、また、平坦地であることから高齢者や子育て中の方にも利用希望が多いことが特徴としてあげられます。

- ・多目的ホールは、8割近い稼働率を達成いたしました。また、貸室全体としては、6割の稼働率を目指し達成しました。また、比較的空きのある夜間帯の利用を引き続き呼び掛けていきました。
- ・ボランティアルーム、地域ケアルーム等の小部屋については、地域の会議等での利用促進を目指し、諸団体へ広報・声かけを行いました。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域の抱える諸問題を地域住民が自ら取り組み解決をしていけるように、子育て世代の悩み等を解決するための事業「みんなで遊ぼう」や、団塊世代の居場所づくりや地域参加につながるような事業「カシャツと倶楽部」「イケ麺‘S」「健康玉すだれ」などを展開し、地域の中から新たな人材を育成いたしました。また、世代を超えて参加できる「親子味噌作り」「コミュニティキッチン5」などの事業を実施、学齢期のボランティアの受け入れも行いました。

キ 区行政との協働について

常に第2期 西区地域福祉保健計画を意識し、計画に基づいた事業を展開してまいりました。各地域の目標達成に向け、ケアプラザ連絡会や地区別懇談会などの機会を活用し、区や地域の皆様のご意見をいただきながら協力し、協働して業務を遂行しました。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ①相談事業での訪問時や事業を実施する際・地域の食事会・会議やおまつり、事業所への挨拶回り等々の機会に、地域包括支援センターの役割や3職種の職務について、わかりやすく説明しました。また、ケアプラザをより身近に感じていただけるように地域の集まりの際に、職員による「南京玉すだれ」の披露も行いました。
- ②必要な場合には職員が地域に出向いて出張相談を行い、地域包括支援センターの説明や活用法をご案内いたしました。
- ③地域包括支援センターのPRとして、チラシやホームページ、掲示版の作成を行い、さまざまな世代の地域の皆様に広くご案内をいたしました。
- ④地域には積極的に出かけて情報収集を行い、また、地域活動交流事業担当者とも連携をとりながら、地域とのパイプを活用して事業を展開しました。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ①地域支援事業（体力向上プログラムなど）の実施に関しては、担当者をケアプラザの全職員がバックアップできるように、すべての職員が介護予防の知識を深め、地域支援事業対象者の把握に努めてまいりました。
- ②地域ケアプラザ独自で作成した「元気でいる為の自己チェック」を用いて、日常生活の中から介護予防の意識を持っていただけるように活動や広報をいたしました。
- ③包括的・継続的ケアマネジメントとして、医療関係者とのネットワークづくりに取り組みました。
- ④各地区社会福祉協議会との連携に努め、総会・研修会等に参加し、協働で多方面から地域づくりに取り組みました。
- ⑤西区地域の集いや地区別懇談会への出席により、西区や担当地地域の課題の把握に努め、その中から介護予防につながるような情報を得て、事業として展開してまいりました。「遅起きラジオ体操」「健康玉すだれ」などがそれにあたります。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

- 介護予防ケアマネジメントの実施目標について
高齢者が、日常生活の中で自立できるようなケアプランを検討し、小さな目標を

達成しながら自立に向け努力できるようなプランを作成いたしました。また、介護予防ケアマネジメントの技術向上を目指し、全職員が研鑽に努めました。

- ①担当職員が自立支援について正しく理解し、お客様の自立した生活につながるような適切なプラン作成に努めました。
 - ②お客様の意欲が向上し、生き生きとした生活が実現できるように、コミュニケーション技術の向上に努めました。
 - ③介護予防ケアマネジメントへの対応が適切にできるように体制を整え、研修を充実させ、自己研鑽に努めました。
- 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について
(高齢者の食事会等、民生委員との連絡会などを活用して)
- 西区福祉保健センターや民生委員との連携をより強化することで把握に努めました。
 - これまで把握している相談事業の対象者や自主事業の参加者に個別チェックシートをすすめ把握いたしました。
- 平成22年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について
- プラザの広報紙や掲示板、ホームページなどに介護予防の取組を掲載し、広く積極的に地域の方に広報しました。
 - 自主事業の中で積極的にチェックシートを活用します。また、特定高齢者候補者の情報を区と共有することにより広く把握に努めました。
 - 地域のおまつり・独居高齢者の食事会・地区社会福祉協議会の研修等で介護予防についての広報を行い、理解の促進に努めるとともに把握に役立てました。

エ 総合相談・支援事業

- ①民生委員や福祉保健活動団体関係者の皆様と顔の見える関係づくりを常日頃から心掛け、協力が得られるように努めました。
- ②地域の抱える潜在的なニーズを発掘し、地域の実態把握のため、「らいぶステーション」への出張相談を隔月に継続して行いました。
- ③西区で行われている「ケアプラザ会議」・「包括の担当者会議」及び西区との月1回の定例カンファレンスを活用し、幅広く情報を得て、地域ケアプラザならではの迅速で各職種が協働で働きかけ解決に結びつける相談支援事業を行いました。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

- 早期発見・虐待防止に向けての工夫等
(ネットワーク構築、認知症高齢者世帯への支援、介護者支援など)
- ①西区が主催する「処遇困難事例検討会」に積極的に参加し、事例やケースごとの処遇方法を共有し、協働することに依り、より良い解決方法を目指してまいりました。
 - ②地域のネットワークづくりとして、個別ケースを中心に関係機関とのカンファレンスを随時行いました。
 - ③権利擁護の啓発講座を西区役所・地域包括支援センター・あんしんセンター共催で実施し、権利擁護について分かりやすく案内いたしました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ①地域のケアマネジャーのネットワークづくりや質の向上を目指し、西区ケアマネ研究会の役員会・定例会等に積極的に出席し、地域のケアマネジャーの情報を得て、具体的な助言や支援を行いました。また、個別の相談に応じよりよい解決を目指しました。
- ②勉強会サロンを開催し、地域のケアマネジャーの情報交換の場や自己研鑽の機会を提供しつつ、地域包括支援センターの役割について説明し、広い視野からケアマネジメントする視点を学んでいただきました。
- ③地区の民生委員・児童委員と顔の見える関係づくりをすすめ、個別ケースでの連携を深め、地域のお客様により添った解決を図りました。また、日頃から各種の地域行事等に積極的に参加し、協力体制を整えてまいりました。
- ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の年間計画については、西区内4地域ケアプラザ合同で半期ごとに評価・計画の見直しを行い、より実戦的な計画立案を図り、実践してきました。

キ 介護予防事業

地域の皆様が要支援・要介護状態にならないように、いつまでも健康で生き生きと過ごしていただくために「にこにこしにあセミナー」（介護予防講座）を年3回開催しました。

- ①手軽に続けられる健康体操やフットケアを行い、筋力アップ、転倒防止を図りました。
- ②口腔ケアの大切さを学んで、おいしく食事を食べ、肺炎等を防いで健康維持に役立てていただき、継続することの大切さもお話ししました。
- ③特に高齢者の栄養バランスのとりかた、おいしく食べるヒントを学んで、日頃の食生活に役立てていただきました。

以上のような内容をできる限り多くの参加者に楽しく学んでいただけるように工夫を重ねて実施いたしました。

ク 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師職担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
専任	非常勤職員	介護支援専門員	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	2名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の自立に向けた目標志向型ケアプラン作成を心がけ、サービスの導入に当たっては明確な目標設定を行いながら、当該サービス提供期間毎に評価を行いました。要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、包括や地域活動交流事業などと協力し、他サービスの情報の中から適切なサービスを紹介いたしました。

特に、独居の方に対しての見守りは、介護保険制度以外でも他の職種と協力して行ってまいりました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

○担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）をいただく契約となっておりますが、対象となるお客様はいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○要支援者・特定高齢者を対象とした介護予防コーラス事業を実施し、多くの方が楽しく参加し効果をあげています。今年度も継続して実施し、多くの参加者がありました。入会を希望されてもお待ちいただいている状況です。

○地域包括支援センター3職種が常に共通認識を持てるよう、所内で定期的に会議を行い、また、日常的にも常に協力して、個別ケースの共通把握や理解に努め、安心して相談いただける体制を維持しました。

《利用者見込み》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	130	129	130	127	133
10月	11月	12月	1月	2月	3月
135	131	136	122	125	125

● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 通所介護計画の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じ、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様やご家族の思いを尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう、また、計画の作成にあたっては、ご自宅を訪問の上、アセスメントやお気持ちを伺い、適切なプランを作成いたしました。
- ・サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療福祉サービス、ボランティア団体等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するように十分に配慮しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○1割負担分

（要介護1）	708円
（要介護2）	825円
（要介護3）	942円
（要介護4）	1,059円
（要介護5）	1,176円

○加算

サービス提供体制強化加算	13円
入浴加算	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	159円

○食費負担

650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00～16:15

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	4名
看護職員	6名
介護職員	22名
機能訓練指導員	6名
調理員	6名
ドライバー	4名

《目標》

お客様の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活が営めるようにサービスを提供いたしました。また、サービスの提供に当たっては、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決定し、お客様に合った計画を立てて実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○お客様お一人ひとりへの個別対応の取組み

- ・自立支援を念頭に置き、お客様一人ひとりの能力に添った援助を行いました。
- ・個別機能訓練計画書を基に、機能訓練指導員が機能訓練を実施いたしました。
- ・看護職員により、食事前には嚥下体操、食後には歯みがき指導等を行い、口腔ケアに力を入れました。口腔内を健康に保ち、誤嚥を防ぎおいしく召し上がっていただけるように支援してまいりました。

- ・書道・折り紙・ぬり絵など、個別に楽しくて心身の活性化にも連なるレクリエーションを行いました。
- ・ホットプレートを使用した調理訓練レクリエーション、シルバー体操指導員によるリハビリ体操など、レクリエーションプログラムの中にも機能訓練の要素を盛り込んで楽しく行いました。

○入浴

- ・ゲルマニウム温浴で、温泉気分が入浴を楽しんでいただくとともに、季節行事として、しょうぶ湯やゆず湯も楽しんでいただきました。

○お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供いたしました。また、毎月テーマを決めて、バラエティに富んだ季節感あふれるおいしい食事を提供しました。お誕生日週間には、普段よりも豪華な食事で、おやつも和菓子や洋菓子を取り寄せて、いつもとはちょっと違った特別な味を楽しんでいただき好評でした。

○スタッフ教育

- ・毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行いました。
- ・全員が、『報告・連絡・相談』を常に意識し、業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、知識や技術向上のための研修等を随時、実施いたしました。特に、認知症や移乗介助の研修に力を入れました。

○関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるよう努めました。
- ・地域の方（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に、当地域ケアプラザのデイサービスを知っていただけるよう、地域に赴きPR等に取り組みました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
581	650	666	712	726	744
10月	11月	12月	1月	2月	3月
735	722	676	639	639	743

● 介護予防通所介護

《提供したサービス内容》

- 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望・ケアプランに応じ、運動器機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客さまの意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営めるように配慮し、ご自宅を訪問の上、行いました。
- ・サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携図り、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止に十分配慮して行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○ 1割負担分	
（要支援1）	2, 327円
サービス提供体制強化加算（1）	51円
（要支援2）	4, 549円
サービス提供体制強化加算（1）	101円
○加算	
運動器機能向上加算	236円
口腔機能向上加算	159円
○食費負担	650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	4名
	看護職員	6名
	介護職員	22名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	4名

《目標に対する取組状況》

お客さまの心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決め、お客様に合った計画を立てサービス提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○お客様お一人おひとりへの個別対応の取組み

- ・ 自立支援を念頭に置き、お客様一人ひとりに添った援助を行いました。
- ・ 運動器機能向上計画書を基に、機能訓練指導員が運動器機能向上のための訓練を実施いたしました。
- ・ 看護師が食事前に嚥下体操、食後には歯みがき指導等を行い、口腔ケアに力を入れ、口腔内の健康に努め、おいしく食事を召し上がっていただけるようにしました。

○入浴

- ・ ゲルマニウム温浴で、温泉気分に入浴を楽しんでいただくとともに、季節行事として、しょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいただきました。

○お食事

- ・ 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。毎月テーマを決めて、バラエティに富んだ季節感あふれる食事を提供しました。お誕生日週間には、和菓子や洋菓子を取り寄せて手作りとはまた違った味を楽しんでいただきました。

○スタッフ教育

- ・ 毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を行い、情報の共有、技術の向上を図りました。
- ・ 全員が、『報告・連絡・相談』を常に意識し、協力して業務にあたりました。
- ・ スタッフ一人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、知識や技術向上のための研修等を実施いたしました。特に、認知症や移乗介護の研修に力を入れました。

○関係機関・地域連携

- ・ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状

況に合った適切なサービスが常に提供できるように努めました。
 ・地域の方（民生委員など）に、デイサービスを知っていただけるよう、地域に赴きPR等に取り組みました。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
17	17	14	16	16	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	12	12	12	13	16

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者	1名
常勤	介護支援専門員	2名
非常勤兼務	介護支援専門員	2名

《目標》

(1) 在宅生活の支援への対応

ケアプランの作成にあたっては、ご利用者のみなさまの心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことを目指し、社会資源等を活用したケアプラン作成に努めました。

(2) 公正中立な立場により多様で総合的なサービス調整への対応

行政機関や地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立ちケアプランを作成し、サービス事業所等との連絡調整をサービス担当者会議等で行いながら、ご利用者・ご家族に納得いただき、ともに取り組んでいただけるようなケアプラン作成に努めました。

要介護認定等との申請に係る相談・助言及び申請ができない場合は代行、ケアプラン作成、サービス事業所等及び関係行政機関等との連絡調整、ケアプランの実施状況の把握、介護保険施設の紹介その他の便宜の提供を行うため、ご利用者宅の訪問やサービス担当者会議等を法令に則り適切に行いました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

通常サービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者、又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨、文書に署名、押印をいただいております。

①公共交通機関の運賃分をいただいたお客様が1名いました。

②自動車を利用した場合、6.5km以上は10km毎に160円をいただく旨を定めていますが、対象となるお客様はいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所である事を大いに活用し、地域包括支援センター、西区、地域の支援者等との連携を十分に行いケアマネジメントに取り組みました。また、特定事業所加算Ⅱの指定を受けた事業所として基準を確保し、24時間365日の相談体制を整えて、質の高いサービスを迅速にきめ細かく提供してきました。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
86	85	83	82	86	85
10月	11月	12月	1月	2月	3月
87	84	84	82	77	79

<以上>

平成22年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名: 戸部本町地域ケアプラザ

平成22年4月1日～平成23年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,051,150	23,623,000	535,500				
	介護保険収入					24,049,677	83,498,158	8,026,236
	その他							
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)							
	補助金収入	18,018					1,587,724	
	認定調査					717,045		
	積立金取崩収入						192,515	
	その他	197,225				40,308	2,175,736	
収入合計(A)	19,266,393	23,623,000	535,500		24,807,030	87,454,133	8,026,236	
支出	人件費	11,871,120	21,871,893	0		18,648,947	56,675,137	
	事務費	2,299,225	2,158,917			4,326,259	12,194,066	
	事業費			540,423				
	管理費	6,803,281	1,774,122			14,008	7,099,204	
	その他							
	居介支委託分							
	修繕積立金						789,000	
	他会計区分繰入						15,387,690	
	その他						1,259,000	
支出合計(B)	20,973,626	25,804,932	540,423		22,989,214	93,404,097		
収支(A)-(B)	-1,707,233	-2,181,932	-4,923	0	1,817,816	2,076,272		

介護予防プランを他事業者へ委託した場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成22年度 自主事業収支決算書

事業名	募集対象	自主事業決算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
にこにこ隊	高齢者	25582	0	0	25582	0	0
	20名						
	なし						
しなくちゃクッキング	男性高齢者	61909	0	51700	0	61909	0
	20名						
	300円						
おやじの時間	男性高齢者	2146	0	0	0	1353	793
	なし						
	なし						
茶ばしらサロン	高齢者	65793	0	48800	23331	42462	0
	300円						
	200円程度						
わたぼうし	若年性認知症の方	90176	0	35700	36663	53513	0
	5名程度						
	1回500円 / 200円						
みんなで遊ぼう	未就園児・家族	35330	0	10500	34999	0	331
	なし						
	100円						
遅起きラジオ体操	なし	32546	0	0	0	0	32546
	なし						
	なし						
家族介護者のつどい	介護経験者	42531	0	22500	0	42531	0
	なし						
	なし~2000円						
出張相談 よろずや戸部本町	高齢者・地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
出張講座	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
カシャッと倶楽部	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
福祉用具機器展示	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成22年度 自主事業収支決算書

事業名	募集対象	自主事業決算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
にこにこしにあ 세미나	高齢者						
	15名						
	なし						
健康玉すだれ	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
イケ麺 S	地域(男性)	0	0	0	0	0	0
	地域						
	なし						
ゆったりストレッチ	高齢者	41571	0	32400	39996	0	1575
	20名						
	200円						
西区男の料理教室 交流会	男性高齢者	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
4ヶアプラザ合同事業 外国文化とふれあおう	地域	22365		19875	3333	18896	136
	なし						
	500円						
しなくちゃクッキング 調理ボランティア	男性高齢者	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
きたれ！おべんとう男子	地域(男性)	16821	0	7500	6666	10155	0
	10名						
	500円円						
考えてみよう！遺言書	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
出張 スマイル広場	未就園児・家族	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
障害児余暇支援 とんぼ	とんぼ参加者	0	0	0	0	0	0
	とんぼ参加者						
	実費						
戸部本町地域 ヶアプラザまつり	地域	157328	0	0	0	157328	0
	なし						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成22年度 自主事業収支決算書

事業名	募集対象	自 主 事 業 決 算 額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア入門講座	地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
親子みそ作り	小学生・家族	12600	0	10000	0	12600	0
	10組						
	1000円						
ボランティア交流会	地域	18281	0	0	0	18281	0
	ボラ登録者						
	なし						
ケアマネサロン	区内ケアマネジャー	0	0	0		9624	0
	なし						
	なし						
老い支度講座	地域	702	0	0	0	702	0
	なし						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ここにこ隊	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：介護予防コース	毎月第2・4月曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちやクッキング	目的：主に、一人暮らしや団塊の世代に男性の閉じこもり防止・交流の場の提供・介護予防 内容：次月メニュー決めと茶話会・男性料理教室	毎月第2・4火曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の居場所づくり・介護予防・ボランティア育成 内容：地域にいる男性の居場所作り支援のため、外出行事を参加者自身が企画・呼びかけをし、実際に実施することによって連帯感を深めたり、Wiiや麻雀を使用して介護予防	毎月第4火曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶はしらサロン	目的：閉じこもり予防・仲間作り支援・介護予防 内容：手芸・工芸・調理・運動プログラムと茶話会	毎月第2・4水曜日 年24回

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わたぼうし	目的：若年期認知症の方・介護保険でのサービスを利用できない方へのミニデイサービスにより、社会参加の場の提供・家族のレスパイト 内容：地域のボランティアの方が中心となり、熟年期認知症の方を対象としたミニデイサービス（余暇活動・昼食提供・音楽療法・外出行事）	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供防止・交流の場の提供・介護予防 内容：第2週：プレイルームの開放／第4週：イベントの実施（講演会・読み聞かせ・体操プログラムなど）	毎月第2・4木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施	毎週水曜日 年45回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者のつどい	目的：介護者同士の交流の場の提供 内容：介護者同士の話し合い・情報交換・講座など実施しながら親睦・介護の情報提供を行う	年6回

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談 よろずや戸部本町	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握 内容：藤棚商店街にある「らいぶステーション」へ出向いての相談会実施	偶数月 第4木曜日 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防防止・交流の場の提供・介護予防 内容：人暮らし高齢者食事会、老人会、町内会などの集まりに出向いて、講座・講話を実施していく	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カシヤット倶楽部	目的：団塊の世代の仲間作り支援・情報発信ボランティアの育成 内容：地域にいる中高年の仲間作り支援（写真を通して、地域の方へ住み慣れた横浜や西区の情報を発信するボランティア活動）	毎月第2土曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉機器展示	目的：条例で位置づけたれた福祉機器の展示・紹介及び、相談調整を行う 内容：手福祉機器の展示・紹介・相談	随時

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこしにあ セミナー	目的：要介護状態にならない為に地域支援事業 内容：体操・口腔ケア・栄養改善に関する講座を実施	15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康玉すだれ	目的：健康増進・介護予防・ボランティア育成 内容：玉すだれを使用した介護予防	毎月第2火曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イケ麺'S	目的：団塊の世代の仲間作り支援・ボランティアの育成 内容：蕎麦打ちと言う手法を用いたボランティアグループの育	毎月第4土曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりスト レッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	毎月第1・3金曜 日 年24回

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
西区男の料理教室交流会	目的：区内のケアプラザで開催している「男の料理教室」の参加者交流を目的として開催 それぞれの会の内容の充実・居場所支援として、企画・運営・事業のコーディネートを行う。 内容：区内4ケアプラザで実施している男の調理教室参加者の会食・交流会	9月・3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
4ケアプラザ合同事業 「外国文化と触れ合おう」	目的：4ケアプラザのサブコーディネーターが福祉保健計画を基に、事業の企画・運営を行う。 内容：西区内に在住する外国の方の文化を知ることにより、交流の機会とする事を目的として実施。	8月・1月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃクッキング 調理ボランティア	目的：主に、一人暮らしや団塊の世代に男性の閉じこもり防止・交流の場の提供・介護予防として開催している「しなくちゃクッキング」メンバーの、成果発表・やりがい支援として実施 内容：7月：若年期認知症ミニデイサービス「わたぼうし」での昼食作り 8月：包括支援センター主催「ケアマネ交流会」での昼食作り	7月・8月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きたれ！おべんとう当男子	目的：男性を対象とした料理教室。お弁当作りを通して、食の大切さ、健康を学ぶ。地域の中での仲間作り支援、交流の場の提供 内容：1回目：お弁当の基本 2回目：和風のおかずの作り方 3回目：豚肉の薄切り肉を使ったおかず	9月 3回

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
考えてみよう！！遺言書	目的：考えてみよう！！遺言書 内容：司法書士による遺言書の講座	9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張スマイル広場	目的：交流の場の提供・仲間づくり・関係機関との連携 内容：プレイルームの開放	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援とんぼ	目的：藤棚地域ケアプラザで実施している障害児余暇支援とんぼの子どもを対象に、ボランティアと一緒に外出し、色々な事を経験する 内容：大宮鉄道博物館への外出	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
戸部本町地域ケアプラザまつり	目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各種団体の交流支援 内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー等	11月 年1回

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア入門講座	目的：新規ボランティアの開拓・育成 内容：ボランティアとは・ボランティア活動についての心構えの講話・先輩ボランティアの体験談・区内福祉施設でのボランティア体験	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しくお味噌を作ろう	目的：食育・親子の交流の機会の確保・仲間作り支援 内容：みそ作り・おにぎり、味噌汁で会食・交流	2月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供・仲間作り支援 内容：ケアプラザにボランティア登録してくださっている方々を対象とした会食・交流会 43名のボランティアの方が参加予定でしたが、平成23年3月13日開催予定でしたが、11日に発生した東北関東大震災に伴い、中止となる。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：西区内ケアマネジャーの交流、質の向上 内容：交流会、専門職を招いた研修会、勉強会	年10回実施

平成22年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
老い支度講座	目的：権利擁護の啓発 内容：専門家を招いての講座	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数